株式会社秀和システム様向け

仕様書の基本と仕組みシステム

要求定義書

第1.0版

|  |  |
| --- | --- |
| 版数 | 1.0 |
| 承認者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |
| 作成者 | ムーンマイル・ソリューションズ　増田智明 |

改版履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 改版概要 | 改版日 | 改版者 |
| 1.0 | 新規作成 |  | 増田智明 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc331683495)

[2. システム構築の目的 2](#_Toc331683496)

[3. システム構築の制限事項 3](#_Toc331683497)

[4. システム機能要件定義 4](#_Toc331683498)

[5. システム機能外要件 5](#_Toc331683499)

[6. システム構築スケジュール 6](#_Toc331683500)

# はじめに

要求定義の前置きを書く。

プロジェクトの「目的」を明確にすることは、チームメンバー間の意思統一を容易にし、各種設計フェーズ、特に概要設計時における重要な判断材料となります。これにより、各メンバーが共通の目標に向かって協力しやすくなり、優先順位の決定や方向性の調整がスムーズに行えるようになります。明確な目的設定は、効率的で効果的なプロジェクト進行の基盤となり、一貫性のある成果へと導く重要な要素です。

# システム構築の目的

システム構築をする際の目的を記述する。

# システム構築の制限事項

システム構築をする際の制限事項を記述する。

移行プロジェクトの場合は、外部システムの記述などを列記する。

# システム機能要件定義

システムを構築する際の機能要件を定義する。

要件定義書は、システム開発プロジェクトにおける契約の核心部分であり、金額やスケジュールに直接関連しています。この文書では、システムに実装される具体的な機能と、それによって達成される機能の概要が明確に記述されます。また、無制限でないことを示すため、制限事項も含まれます。スケジュールに関しては、Wordでの記述が困難なため、別紙としてExcelを使用することが推奨されます。これにより、プロジェクトの進行がスムーズになり、明確な方向性と制約を提供することができます。

# システム機能外要件

性能要件などの機能外要件を記述する。

# システム構築スケジュール

システム構築から運用までのスケジュールを記述する。